

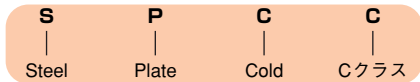
キャビネットの材質について

(1) 鋼板

キャビネット用として使用されている主な鋼板は、JIS規格のSPHC、SPCC、亜鉛メッキ鋼板、SUS304です。

(A) SPCC (冷間圧延鋼板)

冷間圧延機で製造された鋼板であり一般用です。



(B) SPHC (熱間圧延鋼板)

熱間圧延機で製造された鋼板であり一般用です。



(C) 亜鉛メッキ鋼板 (SEHC、SECC)

原板材のSPHC、SPCC等を電気亜鉛メッキしたものであり、耐食性又は塗装性が優れています。反面スポット溶接性が劣ります。

(D) SUS304 (18-8ステンレス)

Cr (クロム) と Ni (ニッケル) との割合が 18% 対 8% の合金で耐腐食性に優れています。
SUS304 は切削、曲げ、研磨等の加工により着磁性の出る場合があります。

(2) プラスチック

キャビネット用として使用されている主なプラスチックは、ABS、PS、FRPです。

(A) ABS

スチレンの電気的性質、成形性、安定性などの長所と、アクリロニトリルの耐薬品性、耐熱性の長所に、耐衝撃性を向上させるブタジエンを加えたプラスチックのことです。
低温から高温にいたる広範囲の温度において、衝撃強さに急激な変化がみられず、寸法安定性が非常に優れています。

(B) PS (ポリスチレン)

剛性、成形性、安定性などの長所をもったプラスチックのことです。
低温から高温にいたる広範囲の温度において、衝撃強さに急激な変化がみられず、寸法安定性が非常に優れています。

(C) FRP

FRPは、繊維強化プラスチックのことで、弊社では、ガラス繊維を強化材として不飽和ポリエステル樹脂で固めたものを使用しています。
鉄鋼やアルミニウムより比重が小さい為、金属より軽くて強い製品を作ることができ、水、油、塩類にほとんど侵されません。
又、他のプラスチック材料に比べて耐薬品性、遮熱性に優れています。

<プラスチックの一般特性>

熱可塑性樹脂	略号	熱変形温度 (°C)	耐弱酸性	耐強酸性	耐弱アルカリ性	耐強アルカリ性	耐有機溶剤性	耐候性
ABS樹脂	ABS	90~110	◎	△	◎	◎	△	△
AES樹脂	AES	90~100	◎	△	◎	◎	△	◎
ポリスチレン	PS	80~110	◎	×	◎	◎	×	△
ポリエチレン	PE	40~50	◎	△	◎	◎	△	△
ポリプロピレン	PP	55~70	◎	△	◎	◎	△	△
ポリカーボネート	PC	130~140	◎	△	○	×	○	○
ナイロン6	PA6	60~70	○	×	◎	○	○	△
ポリアセタール	POM	110~120	○	○	◎	◎	◎	△
アクリル	PMMA	90~100	◎	×	○	○	×	◎
FRP樹脂	FRP	150~170	○	○	△	△	○	◎

◎：優、○：良、△：可、×：不可

(3) 亜鉛合金

亜鉛 (Zn) を主成分とし、アルミニウム (Al)、銅 (Cu)、マグネシウム (Mg)、鉄 (Fe) 等を含んだ合金のことです。
錆肌美しく、寸法制度の高い製品ができ、機械的性質 (引張り強さ、圧縮強さ、硬さ、曲げ強さ、弾性率など) に優れ、耐食性の良いメッキができる等、優れた特性を有しています。